甲宗八幡宮 夜能 Ver2

～能楽ワークショップ～
in 甲宗八幡神社

日時 平成28年 10月29日(土)
- ◆17:00 開場
- ◆18:00 開演
- ◆19:30 終了予定

場所 甲宗八幡神社 能舞台「神敬閣」
北九州市門司区旧門司一丁目7番18号

入場券 2,500円
（ワークショップテキスト代含む）

※駐車場はございませんので、
公共の交通機関をご利用下さい。
※雨天の場合は、拝殿で行います。
※当日は暖かい服装でお越し下さい。

主催 甲宗八幡宮能楽実行委員会

後援 北九州市教育委員会・門司区役所・甲宗八幡神社・門司港レトロ倶楽部・NPO法人門司まちづくり21世紀の会

甲宗八幡宮

夜能 Ver2

～能楽ワークショップ～

in 甲宗八幡神社

平成28年10月29日（土） 18:00開演

甲宗八幡神社 能舞台「神敬閣」

18：00～能の話、関門にまつわる能の話

能面、能装束の解説と体験

囃子の解説と体験

19:00～羽衣解説

半能 羽衣

シテ（天女） 宮本 茂樹

ワキ（漁師白龍） 江崎 欽次郎

笛 浦 政徳

小鼓 林 大和

大鼓 石井 保彦

大鼓 井上 敬介

後見 鷲尾世志子 大江 泰正

地謡 山口剛一郎 今村嘉太郎

羽衣あらすじ

季節は春。

舞台は世界遺産の三保の松原。

漁師である白龍は松の枝にかかった美しい衣を見つけ、家の宝にしようと持ち帰ろうとします。

そこに天女が現れ、その衣は私の天の羽衣なので返して欲しいと頼みますが、白龍はそれならば家の宝どころか国の宝になると返そうとしません。

天の羽衣がないと空を飛べず、月世界に帰れないと嘆き悲しむ天女。

白龍は哀れに思い、月世界の舞を見せてくれたら返してあげると言うと、天女は舞うことを約束します。

天の羽衣を身に纏った天女は、月世界の様子を表す舞いを見せます。

三保の松原の美しさを讃えながら東遊の数々を見せますが、その姿は段々と遠く離れ富士山へ舞い上がり、霞にまぎれて消えていきます。

宮本 茂樹（みやもとしげき）

1975年生まれ。観世流シテ方準職分。平成8年より観世流大江家七世大江又三郎師に師事し内弟子修行を積み、平成15年独立。これまでに「石橋」「道成寺」など披く。能楽協会京都支部所属、京都能楽会会員、宮本施謡会主宰。各地で能楽を理解していただくためのワークショップを行いつつ、海外公演等にも積極的参加。能楽の普及に尽力する。

入場券/その他お問い合わせ

甲宗八幡神社

（月～土 / 午前9:00 ～ 午後5:00）

北九州市門司区旧門司一丁目7番18号

TEL 093-321-0944